

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2012年1月）

### 【トピック】

- ・ クレック経済・通商大臣率いる当国経済ミッションがイスラエルを訪問。
- ・ 商業施設（小売店）の営業時間に関して政労使の意見が一致せず。政府は、土曜の閉店時間を19時にする法案を提出へ。
- ・ 国民議会が賃金物価自動スライド制の調整について可決。2012年から2014年までのスライド制の実施は年1回だけとし、かつ12か月のインターバルを置く。
- ・ フリーデン財務大臣及びヴィズラー持続的成長・インフラ大臣がカタール及びドバイを訪問した。

### 1. 製造及び建設セクター

#### 製造セクター

2月の景気動向調査結果によると、最近の工業生産は増加傾向にあると答える企業が前月の15%から37%に増加している。一方で工業生産の推移の見通しに関しては、「増加する」と考える企業が1月は30%だったのに対し、2月は9%に減少している。需要の少なさを理由に挙げる企業が最も多い。

#### 建設セクター

2月の景気動向調査結果によると、業務量は安定的であるとする企業が62%を占めている。注文数も59%が平常通りであるとしている。

### 2. 金融セクター

- (1) 11年12月末現在銀行資産残高は7,940億ユーロ。
- (2) 12年1月末現在銀行数は143行。
- (3) 12年1月末現在投資信託残高は2兆1571億ユーロで、前月比2.89%増。

### 3. 雇用情勢

- (1) 12年1月の季節調整済み失業率は5.9%（推計値）。
- (2) 12年1月の雇用局（ADEM）登録失業者数は前年より1208人多い15,579人（8.4%増加）。11年始めには5.6%であった失業率は5.9%に。雇用数は増えているが、失業者の増加をカバーするには不十分。

### 4. インフレ

- (1) 12年1月のインフレ率は年率2.9%（前月同3.2%）。
- (2) ガソリン価格は2008年のピークを超過。2月初旬以降、輸出国の政治的緊張等により1バレル（北海ブレント）が20米ドルほど上昇したことが上記インフレに寄与。

※ 当国政府機関（統計局等）の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。